

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		修学旅行等事業費 [宿泊施設使用料負担軽減事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業番号	6			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育総務		課		学務		係	課長名	斎藤 謙二郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)	31		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内在住でかつ公立の小・中学校に在籍している児童・生徒のうち、宿泊を伴う移動教室・修学旅行に参加した者の保護者				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内在住でかつ公立の小・中学校に在籍している児童・生徒のうち、宿泊を伴う移動教室・修学旅行への参加対象者数 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 修学旅行等の宿泊費の補助(一部)が受けられる				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 参加者数 →						
	③ そのために何をしましたか。 保護者の負担を軽減するため、宿泊を伴う移動教室・修学旅行に参加した児童・生徒の保護者に対し、宿泊費の一部を補助する				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 児童・生徒一人当たりの補助額 ①小学5年生 2,200円 ②小学6年生 3,800円 → ③中学1・2年生 4,200円 ④中学3年生 5,100円						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人	3,596	3,598	3,568					
	成果指標	②の数値	人	2,446	2,602	0					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方 全ての児童・生徒が修学旅行等に参加できることが本事業の目的である											
3 経費	活動指標	③の数値	人	①2,200,②3,800 ③4,200,④5,100	①2,200,②3,800 ③4,200,④5,100	実施なし					
	事業費(実績)		円	9,784,200	10,660,800	0		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	9,874,200	10,660,800	0					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.0	0.1				
	所要人数(再任用)	人	0.0	0.2	0.0						
	職員人件費(再任用以外)	円	824,400	0	0						
職員人件費(再任用)	円	0	783,400	0							
事業費+人件費		円	10,608,600	11,444,200	0						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和58 年度										
	(2) 環境の変化 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし。										

事業名称	修学旅行等事業費 [宿泊施設使用料負担軽減事業]				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：			
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
特になし					
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）				
	対象学年を広く浅くするか、集中させるかを検討する必要がある				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。				
	特になし				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
特になし					
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
施策名： 学校教育の充実					
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】				
	限られた財源の中で、保護者負担軽減頭使する事業として、今後の現状を維持していきたい				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
特になし					